

地方自治体ヒアリングについて

1. 目的

- 平成 16～20 年の結核罹患率の推移を基に、事情の異なると考えられる自治体から、結核対策の背景、施策等について聞き取り、予防指針改定のための基礎資料とする。

2. 対象都道府県

東京都、長野県、島根県、徳島県、高知県、長崎県

<参考データ>

各自治体の全結核罹患率の推移（平成 16 年 → 平成 20 年、人口 10 万人対）

東京都	30.4	→	25.1	長野県	10.4	→	10.2
島根県	17.2	→	17.7	徳島県	22.5	→	22.7
高知県	22.9	→	17.1	長崎県	24.4	→	24.6

3. ヒアリングに当たっての主な視点

○ 結核対策の概要

- ・ 近年の現状と課題
- ・ どのような計画を策定しているか
 - － 予防計画の概要
 - － 結核対策指標
- ・ どのような施策を講じたか
 - － 特に重要課題に対する施策

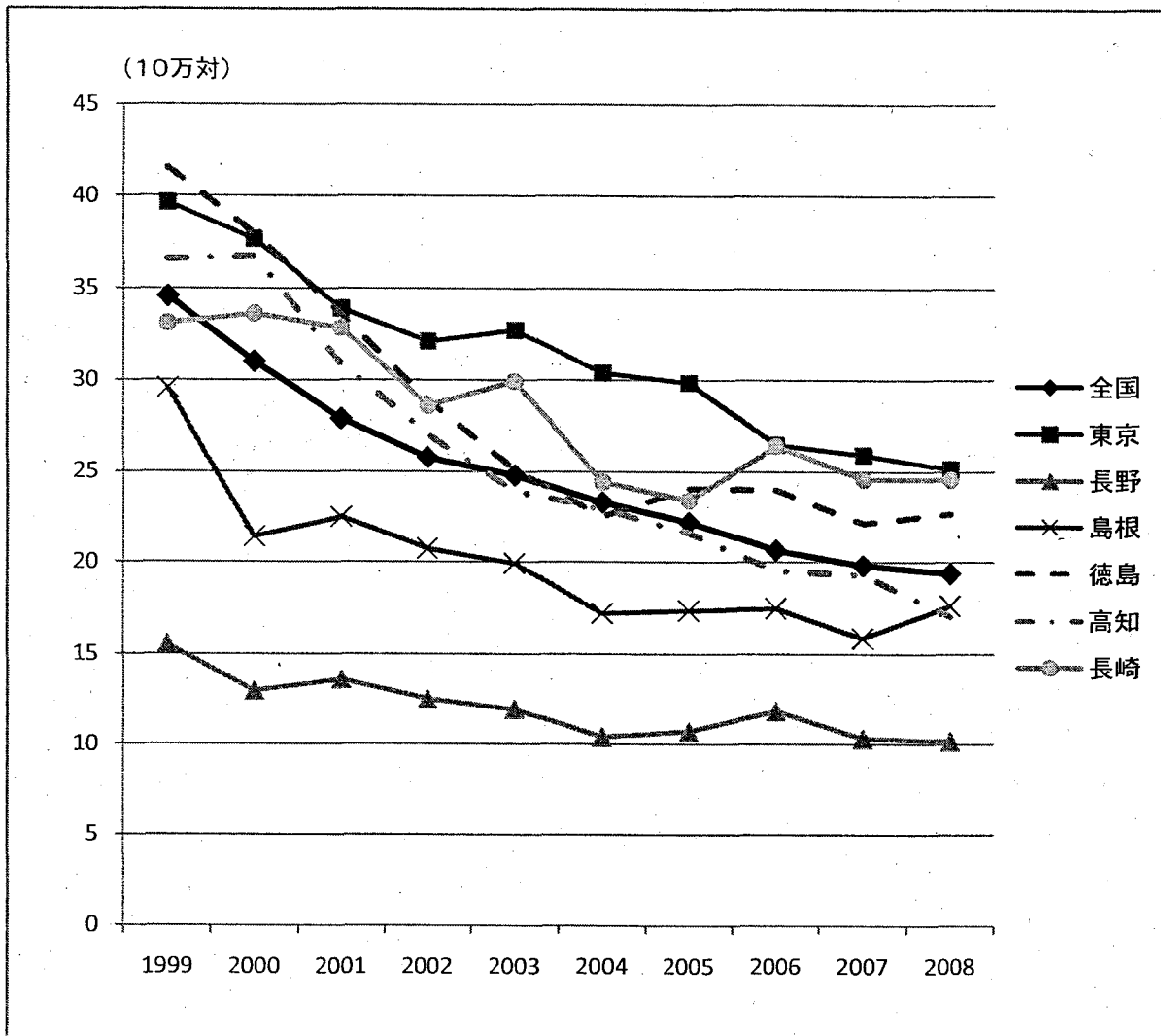
○ 対策の結果

- ・ 計画にそって対策を講じた結果、結核罹患状況等はどうのように変化したか
 - － 指標の達成度等

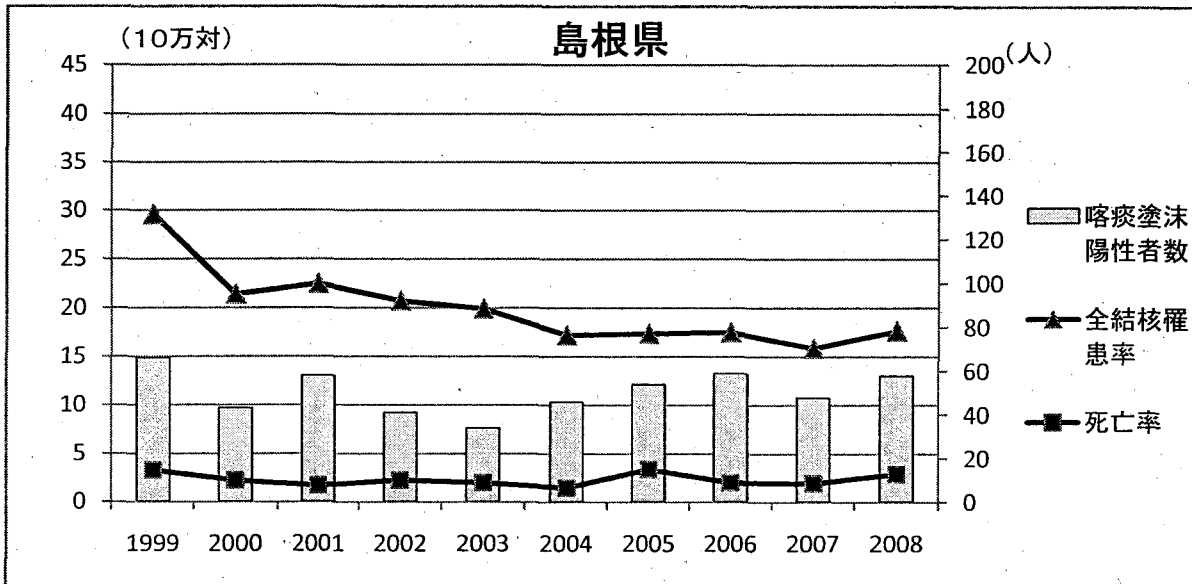
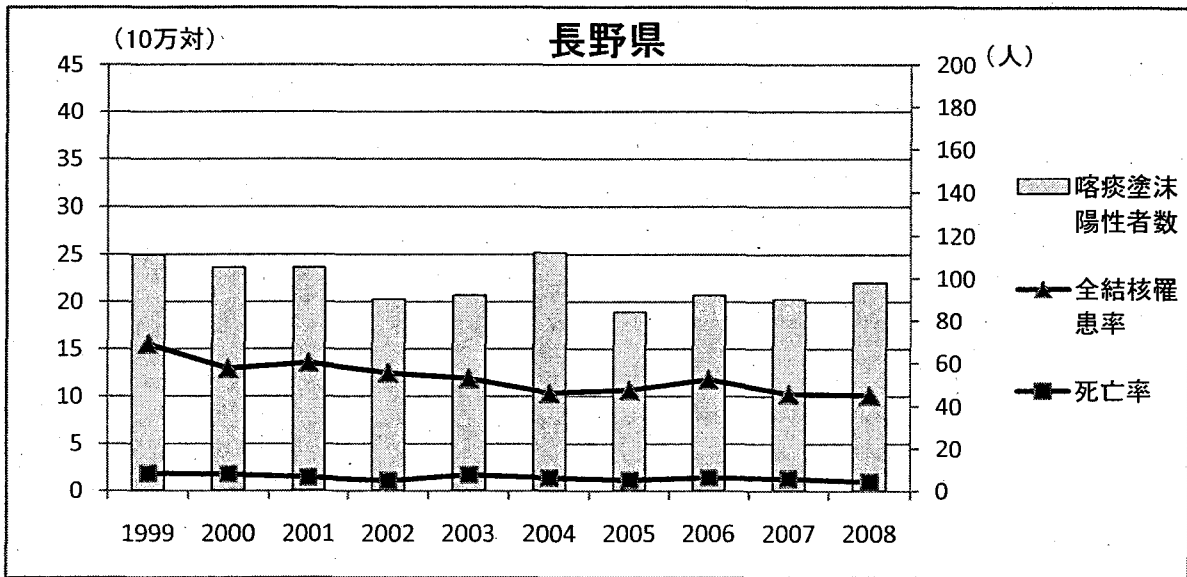
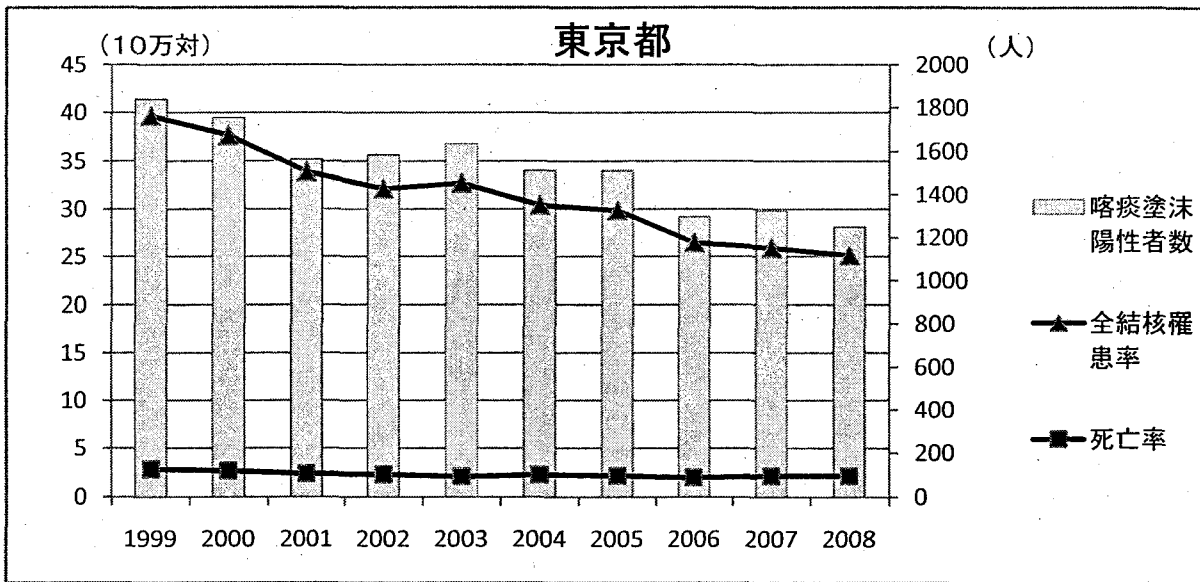
○ 対策の評価

- ・ 結核罹患状況等が変化した理由はなにか
 - － 罹患率が減少している場合、特に功を奏したと考えられる対策は何か
 - － 罹患率が停滞している場合、対策があまり功を奏していない原因は何か考えられるか。
- ・ 結核罹患状況等に影響を及ぼした外部要因等はなにか（あれば）
- ・ 今後、強化すべき対策・改善すべき点はなにか

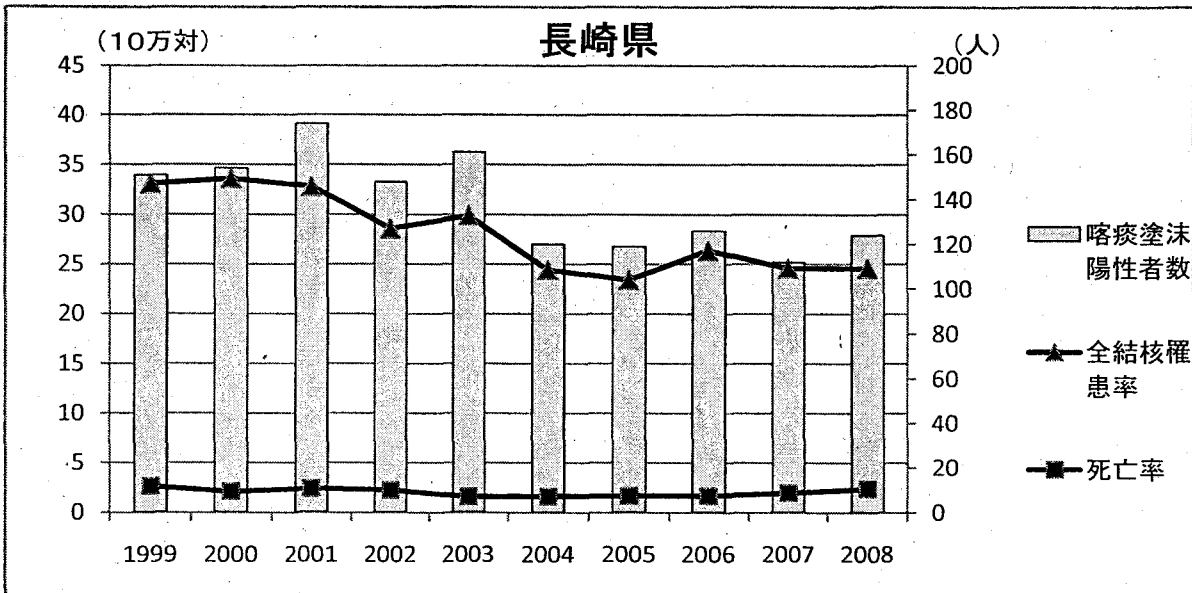
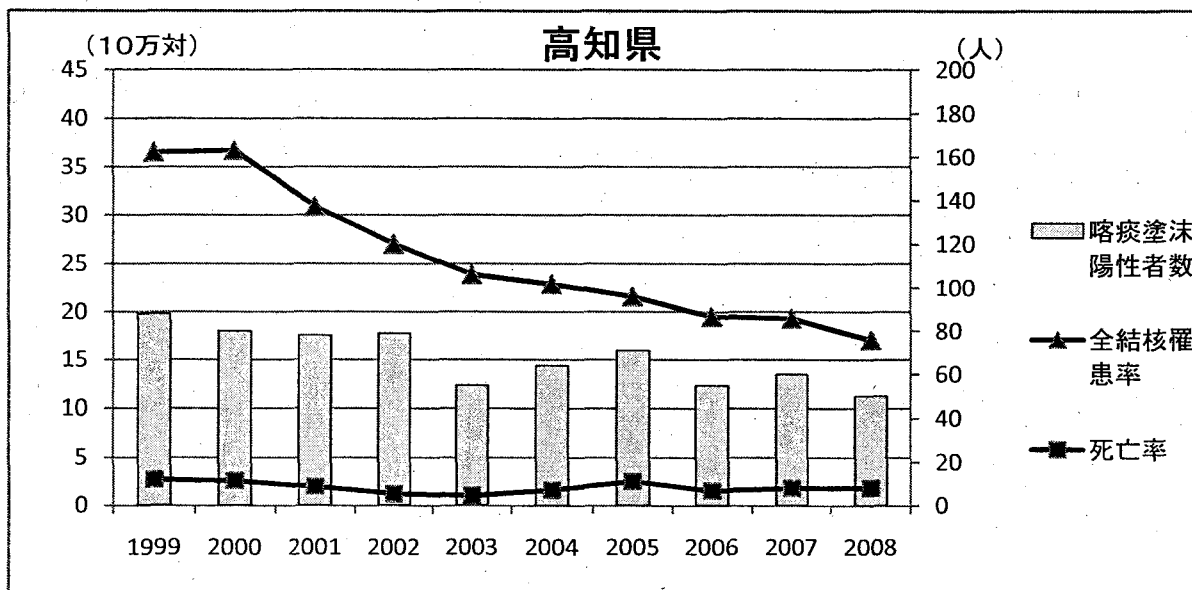
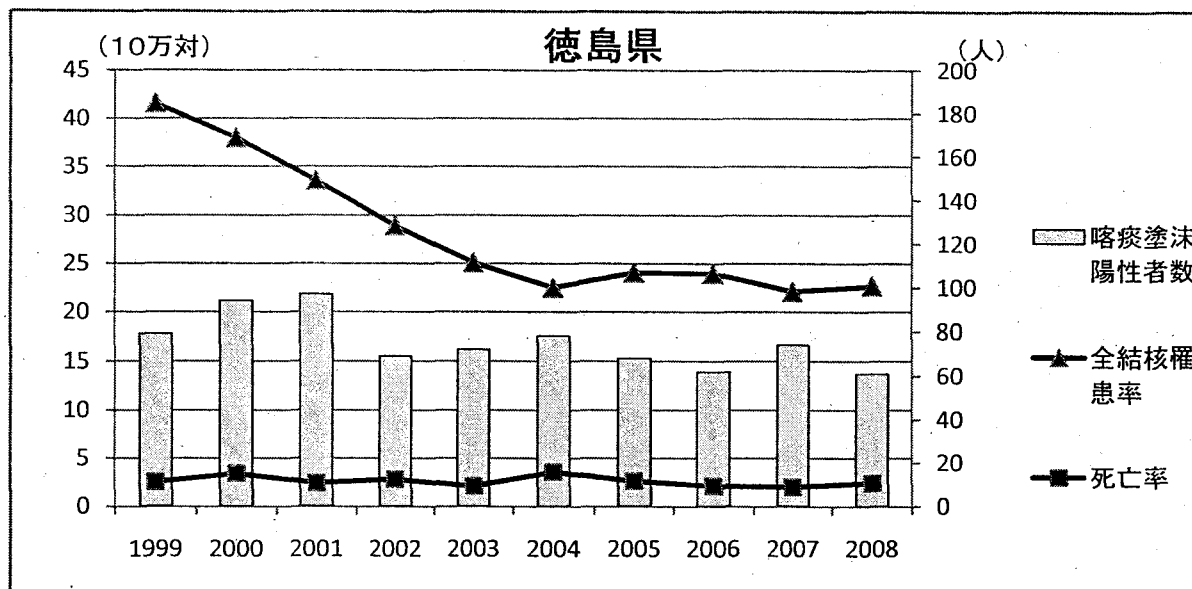
全結核罹患率の推移(全国と6都県)



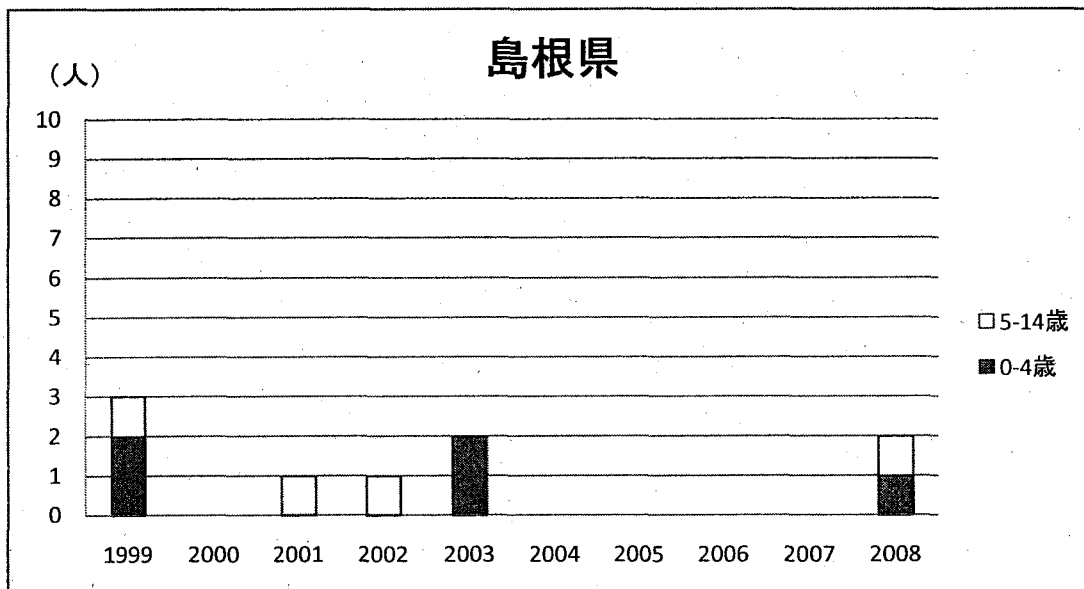
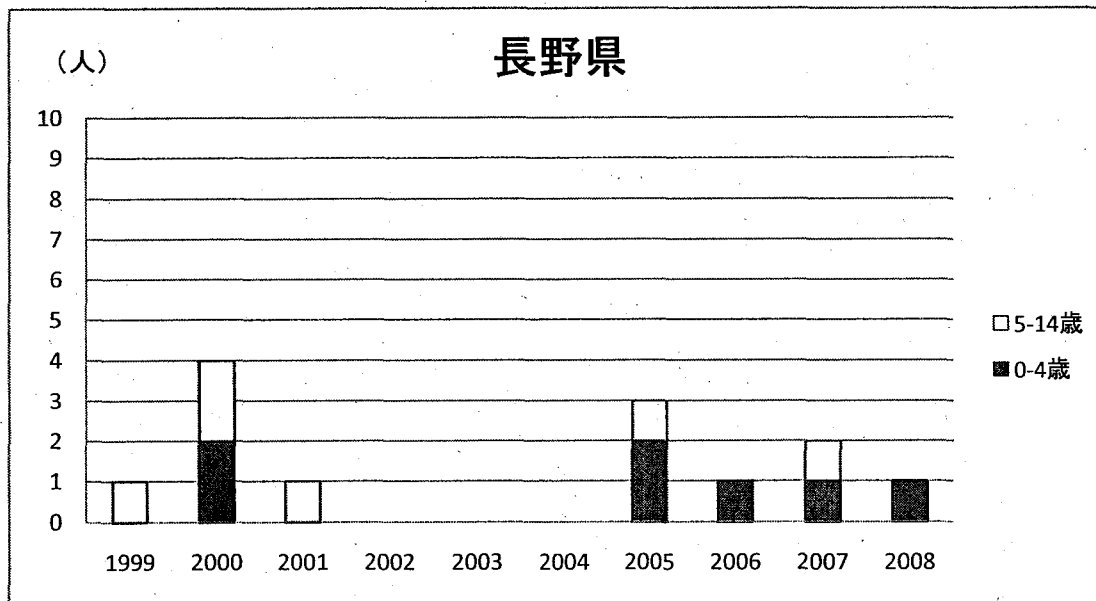
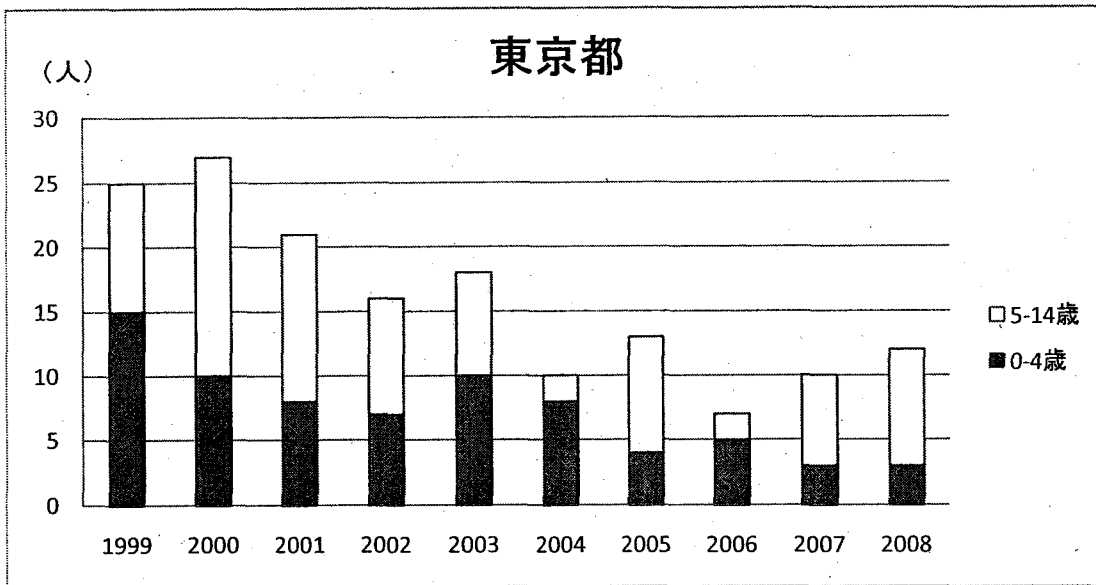
喀痰塗抹陽性者数、全結核罹患率、死亡率 ①



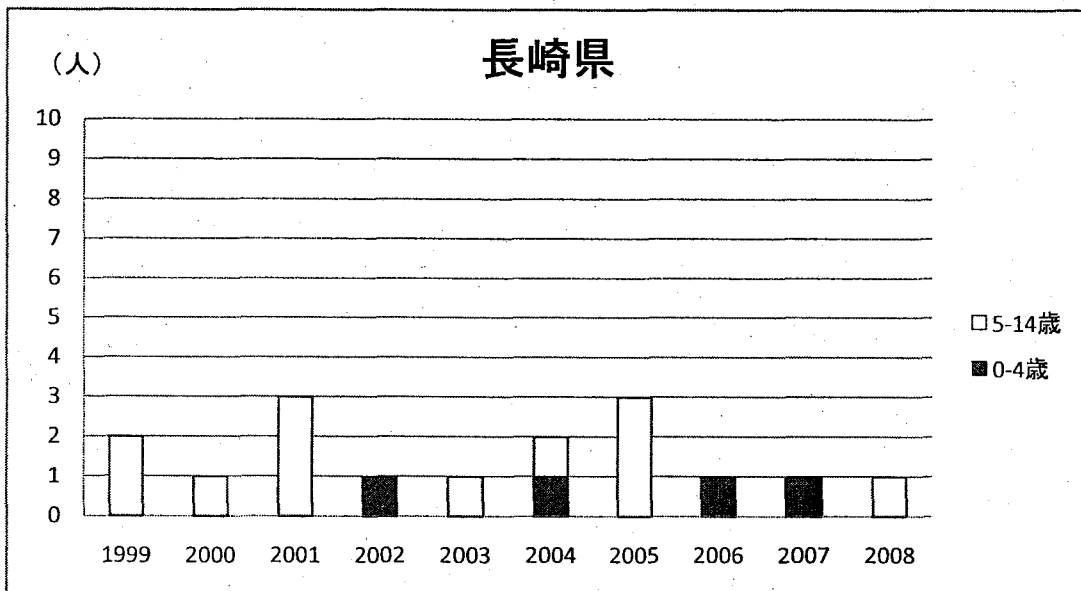
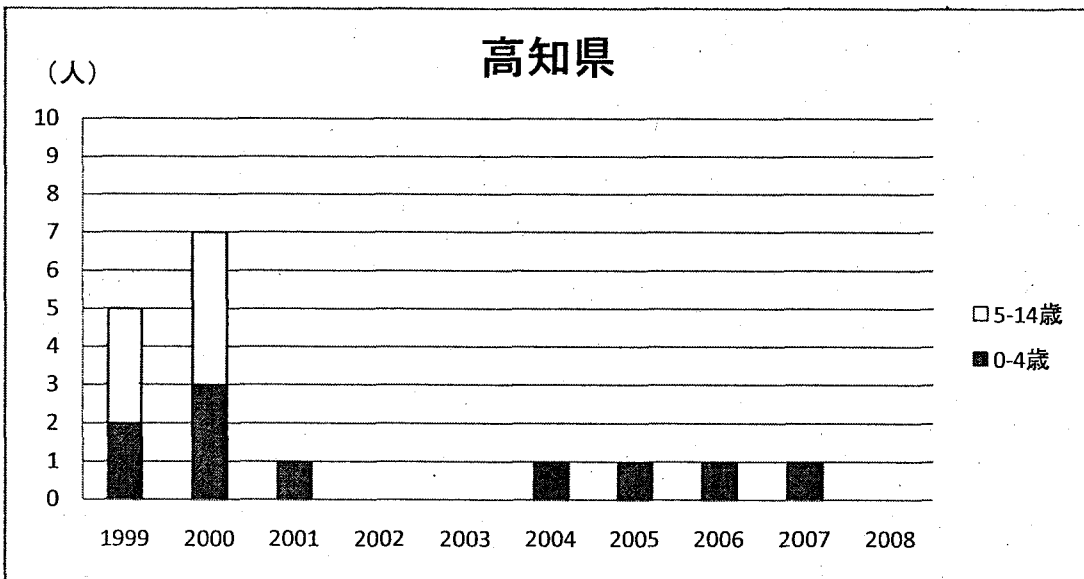
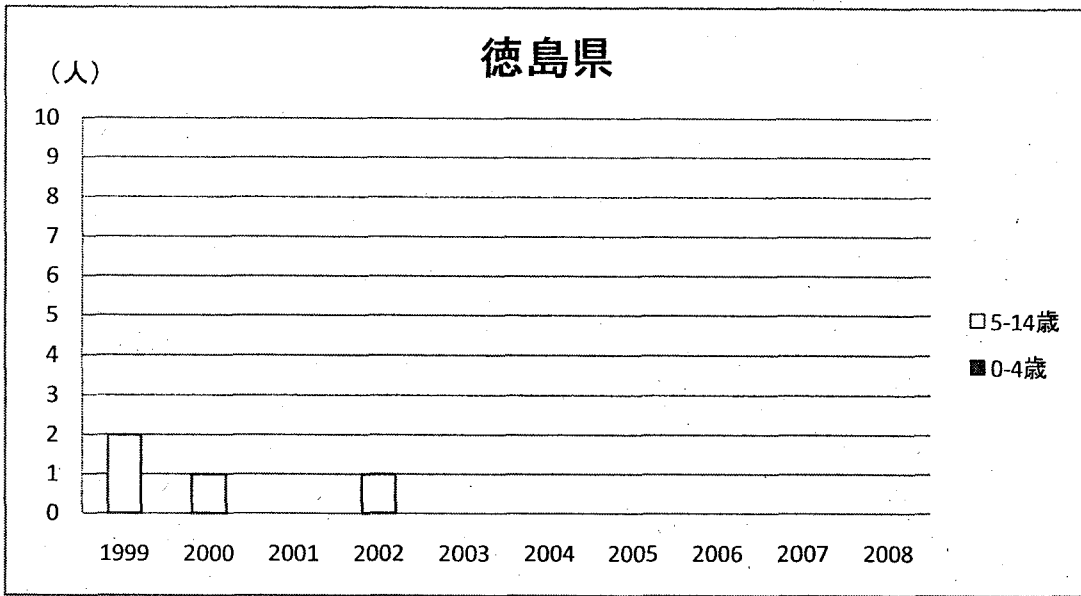
喀痰塗抹陽性者数、全結核罹患率、死亡率 ②



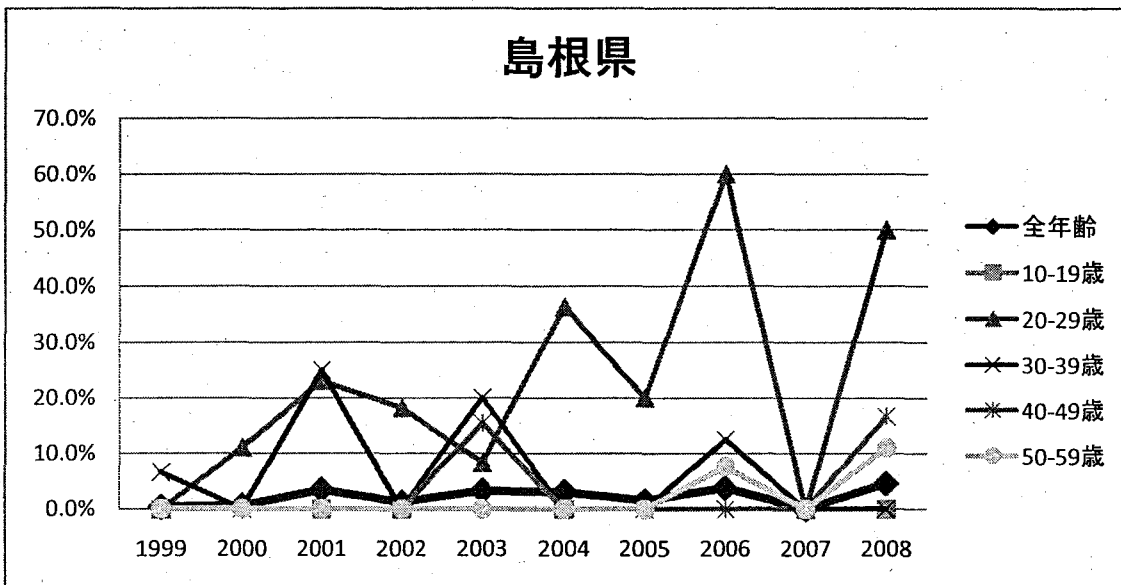
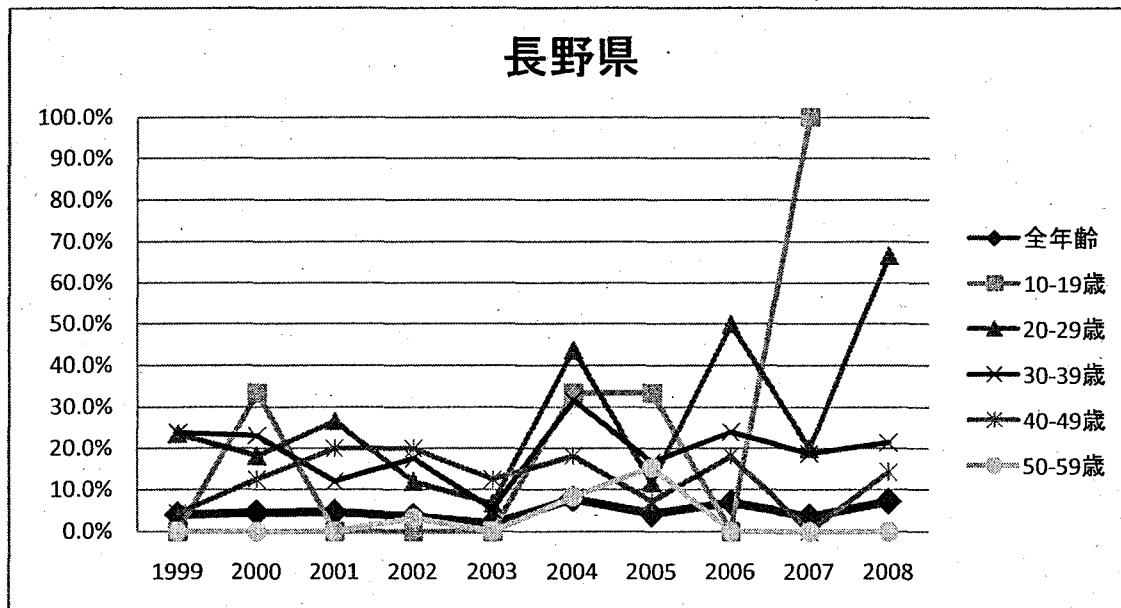
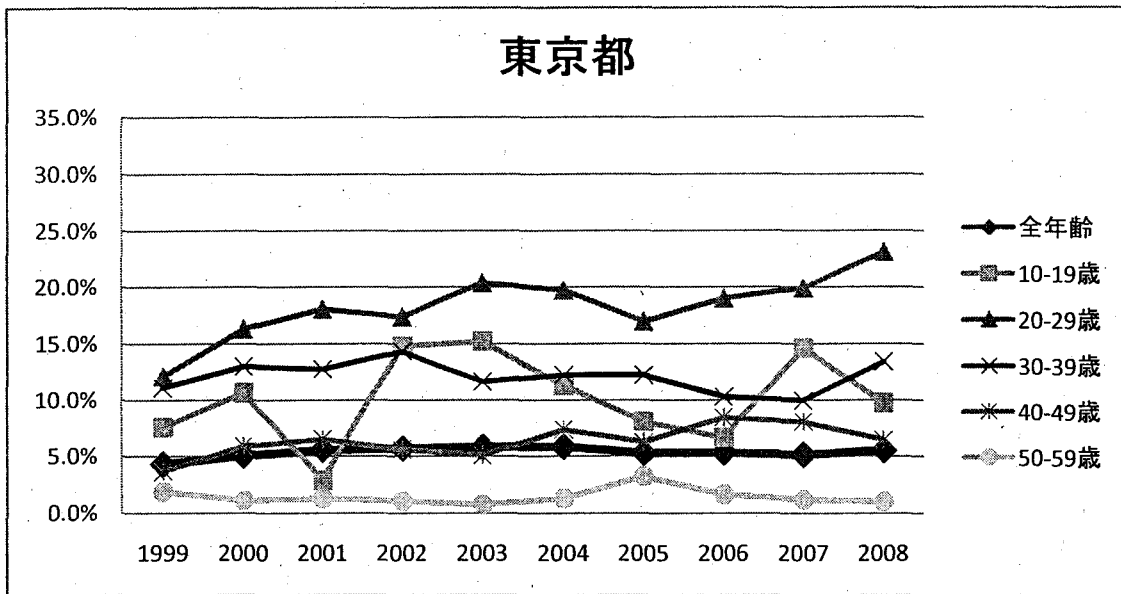
小児結核患者数 ①



小児結核患者数 ②



結核患者のうち、外国籍の者の割合 ①



結核患者のうち、外国籍の者の割合 ②

